

## 絆 ~希望への道~

### 2012年度 理事長 村上伸一

（社尾道青年会議所は、1957年に県内4番目の青年会議所として設立され、青年会議所運動が始まり56年間継承され本年度創立55周年を迎える事となりました。）

これまで数多くの先輩方が「明るい豊かな社会」の実現を目指し様々な事業や活動を行い、尾道のまちづくり、ひとつのくにに大きく貢献し、輝かしい実績を残しております。

本年度は、55周年という節目の年を迎えるにあたり、新たな時代に向け故郷の為に、地域社会に貢献し青年経済人として更なる活動に邁進して行きます。

昨年3月11日、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生しました。この地震は戦後日本で起った地震の中で最も大きな地震だったとされています。今もなおこの震災の被害が苦しんでいる人たちが大勢いる中、私たちは何ができるでしょうか。物資の支援も大事ですが、全国各地の青年会議所のネットワークを活かした被災地への協力が、人と人との「絆」・復興への道へと繋がると考えます。

しかし、この震災で学んだ事がたくさんある事を決して忘れてはいけません。自然の恐ろしさ、脅威を日本中が震撼した事と、支援協力をやってきたボランティアの人々、全国の青年会議所メンバーを誇りに思います。その被災地での被害を受けながら、青年会議所メンバーとして活動に邁進されたメンバーの人たちに人としての「絆」を感じました。その行動に希望、未来を感じた人たちがたくさんいる事と思います。

青年会議所が発信する運動・活動・言葉を通じて多くの人々が復興に取り組み、参加する事が「希望」となるのです。

近年尾道は観光のまちとして全国から大勢の人が訪れています。派手な観光名所はありませんが、昔からの神社仏閣や歴史的な建造物、まっすぐにちなんだ伝統文化がた

くさんあります。さらに近年は、鳥を自転車でも渡る事のできるサイクリングロードなど、自然との調和の美しいまちとして注目されています。

その素晴らしいところをもっと全国に向け発信していく為に、様々な事業を考え、尾道青年会議所の活動は興味を持って、尾道市民は基より全国の人から多くも受けてもらえる様な事業を創りたいと考えています。

今の子どもの多くは情報豊かで便利な生活に慣れてしまいい、大切な何かを忘れていくのではないのでしょうか。便利な生活は人と人との会話を減らし、コミュニケーション不足を生み出しているのが現状です。直接相手と向かい合うことなく、パソコンや携帯の画面で会話を行います。そのような希薄な生活が昨今の道徳性に欠けた秩序のない子どもたちをつくりあげている原因の一つです。

メディア等情報機関が全て悪いとは言いません。例えば尾道のまちが様々なメディアに取り上げられたりする事に、子どもたちが自分の住んでいるまちに興味を持ち、誇りを持ち、その気持ちに追及し心と探究心をおこし興味を持った事を地域の大人に聞き他人との関わりを増やして行くことにつながります。それこそが今の子どもには必要なのではないのでしょうか。

人と人との繋がりは、他人の価値観で量れるものではなく、家族以外の友達との「絆」が宝である事を、私たち活動を通じて子どもたちに伝えて行きたいと考えます。

同時に故郷にある様々な伝統文化の継承も、尾道の発展、子どもたちの教育にも不可欠なものと考えます。故郷を知るところは誇りとなり、自信となり、自分を大きく育てるものになります。小さな繋がりが大きな発展につながります。

全国的に問題になっている各地青年会議所会員の減少は深刻な問題でもあり、早急に解決しなければならぬ課題となっております。

私たちの活動は決して一人ではできないものではありませんが、まだまだ皆さんの同じ志をもった人たちがいるはずだと。会員拡大活動は次世代のそういう思いをもっている人たちの発掘する事です。まだ会員候補として眠っている人は宝石に例えれば原石です。原石

は埋もれたままではただの石ですが、それを掘り起し、磨けば磨けばほど輝いていきます。その原石である会員候補を掘り起し、会員活動を通じて己を磨くことにより得るものはたくさんあります。自己のスキルアップ、一生を語り合える友を探し、故郷を知る、人との関わり合いの中で、たくさんのものを得て、原石を宝石に変えて、たくさんのものを置くことは自分の環境や人生を変え個人を強くする事となり、出向や諸大会・事業の参加は自己啓発などの絶好の場でもありませぬ。

外に出てみれば今まで気付かなかった自己の魅力に気付く事になります。知らない自分を知らぬことにより、その事について、語り合え励まし合い共に成長する仲間がたくさんできます。

各地各協議会で積極的に活動に参加する事によって得た知識や経験を必ずや知恵に変え自分のちからとしてLOMに持ち帰り、それをLOM内で発揮することによりLOMになくしてはならない人間と成さしめます。

2010年度、(社尾道青年会議所は)一般社団法人化に向けての意思決定を行いました。

2013年11月をもって新制度に完全に移行されるにあたり対応を行っていかなくてはなりません。基本的には私達の思いや行動が変わることはありません。56年間継承されてきた数々の事業を、「明るい豊かな社会」の実現のための更なるステップアップできる機会として捉え、JIC活動に自ら限界を作らず挑戦し、情熱を持って志しを高く掲げ、魅力ある(社尾道青年会議所)を築き上げていきたいと思います。

(社尾道青年会議所の)メンバーとして全ての活動に自信と誇りを持ち、1度しかない2012年を志し高く自分らしく、希望あふれる1年間にしましょう。

## 2012年新年のご挨拶

### 第56代理事長 村上伸一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、創立55周年の節目となる2012年の新たなスタートを迎え、謹んでお慶び申し上げます。本年度社団法人尾道青年会議所第56代理事長を務めさせて頂き、ます村上伸一です。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年はずま理理事長の「若い力」・ロックンロールでいこうのものと同様企画・行動があり、東日本大震災の復興を掲げおのみち灯りプロジェクト・サイドパレードを開催いたしました。会員の皆様の活動への参加が更に高まったと思います。

さて、2012年度の理事長テーマは「絆」・希望への道と掲げさせていただきます。明るい豊かな社会の実現を目指し様々な事業や活動を行い、尾道のまちづくり、ひとつのくにに積極的に活動してきたと存じます。55年という歴史の中から伝統活動を継承し更なるステップアップできる機会と捉え、人と人との繋がりを「絆」を含めた活動をして行きます。

私自身も理事長として1年間、今年の干支の登り辰の様に頑張っていくつもりです。この節目と高く、希望あふれる年となりますように祈念すると共に、会員の皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 委員会だより

### 未来ビジョン委員会

新年 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。本年、未来ビジョン委員会の委員長を務めさせて頂く事になりました。

当委員会は尾道が将来に亘りどのように発展していくかについて検討する事を主目的とし、一年間活動を行ってまいります。

一人はみんなの為に、みんなは一人の為にを委員会のスローガンとし、真剣に尚且つ元氣溢れる活動を行えるよう、私も精一杯務めて参りますので、どうか一年間宜しくお願い申し上げます。



委員長 村上 忠正

### 未来の宝育成委員会

あけましておめでとう御座います。本年もよろしくお願ひします。

本年度未来の宝育成委員会(教育系)の委員長を務めさせて頂きます榊原靖貴と申します。子どもが心豊かに育っていくためには、親世代である我々が心豊かに子育てできるように共に育っていかねばならないと考えます。「笑顔溢れる素敵なおまちづくり」をテーマに、JCの人的ネットワークを生かし地域教育団体と連携しながら、未来ある子どもたちのために次世代育成事業、親の教育力向上事業などに取り組んでいきます。一年間どうぞよろしくお願い致します。



委員長 榊原 靖貴

### 社会開発委員会

当委員会はまず、みなと祭りからはじまり、みなと祭りにおいては子供たちを中心としたアトラクション設営をし、楽しい思い出を残していただけたらと思っております。そして、6月例会、三体みこし、御袖天満宮の大祭、久保八幡神社の大祭、しまなみ3JC、最後にベッチャー祭り、対外的な事業が多く予定されています。

我々に課された所管業務を通して、より良いまちづくりの一助になれるよう委員会メンバー皆で尽力して参りたいと思ひます。

皆様、本年もどうぞ宜しくお願い致します。



委員長 高垣 利将

### ビジネス開発委員会

あけましておめでとうございます。ビジネス開発委員会の紹介をさせていただきます。

私たちの委員会は、入会年数が若いメンバーが主体の委員会となっております。委員会メンバー皆、魅力的な方々で1年間大変楽しみにしております。現在は、2月例会に向けて活動しております。今後もフレッシュな力でがんばってまいりたいと思っております。1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



委員長 安本 皇

### 拡大研修委員会

我々拡大研修委員会は、本年度拡大目標を100%(全員拡大)とし、5年後には3分の1となる会員の減少に歯止めをかけるべく邁進して参ります。

これまでの55年の歴史とそれを作り上げてこられた先輩方に敬意を表すると共に、地域での尾道JCの存在をさらに大きくするため、11人の拡大研修委員会メンバーをはじめとし87名の現役会員全員で大きな目標に立ち向かいます。

一年間、お願いばかりになりますが、何卒よろしくお願いいたします。



委員長 馬原 美晴

### 総務情報委員会

当委員会では、昨秋よりJIC手帳・JICライフ・ホームページの作成作業を委員会メンバーが一丸となって進めてまいりました。

今日の1月例会総会でこれらを皆様に配布でき、やっとスタートを切れたことを実感しています。

禅語で「看脚下」という言葉があります。本質を知るために己を知る、足元を見つめるということです。派手なことはありませんが委員会の指針にできればと思います。



委員長 今川 智弘

### 55周年実行特別委員会

家族あつてのJC・会社あつてのJC・社員が一生懸命頑張ってくれているからできるJC。活動をさせて頂いているという意識の中でやらにゃーいけんこと、やっちゃーいけんコトの線引きを自戒を含めてはつきりと引いておきたい。

ただ、村上伸一理事長のため多少の無理ならしてみようかなと思ふ。自分を見失うことなく、また自分らしく、この1年を全うしていきます。

キンキンに冷えたスノーパードライを今まで経験したことないような旨さで味わってみたい...



副実行委員長 川原 浩太

### 事務局

明けましておめでとうございます。

事務局は会員皆様と一丸となって、JC活動が行えるよう各委員会との横の繋がりを積極的に持ち、効率的な運営管理に取り組み、充実した1年となるよう事務局メンバー力を合わせ、邁進して参ります。

1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



事務局長 河井 茂

## 編集後記

いよいよ2012年度新年号をお届けすることができました。昨年のまだ暑さが残っている頃からこの度のJICライフについて話し合い、どうすればより充実した内容にできるのか総務情報委員会でも考えてきました。

いかがでしょうか! このカラー紙面! まだ、おぎゃーと生まれたばかりでございますが、これからの年かけて毎号成長していけたらと思います。

今年「辰年」。辰の源字は「蜃」であり、動いて伸びる、整うの意で、草木が盛んに生長し、形が整った状態を表すそうです。大きくは日本全体が復興し、日も早く安定した毎日に戻り、また尾道も我々自身も成長していけることを願うばかりです。

本年もどうぞよろしくお願い致します。そしてみなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

総務情報委員会 委員長 今川 智弘



# シニアクラブ会長新年挨拶



尾道青年会議所シニアクラブ  
会長 福井 弘

謹んで2012年度の新春をお祝い申し上げます。

昨年3月11日に発生した、東日本大震災は、巨大地震・津波・原発事故の三重苦という、未曾有の広域複合大震災になりました。しかし日本にとっては、決してマイナスだけでなく、この時ほど助け合いの思いが高まったことはなく、見知らぬ人々への苦しい想像力や結びつきを感じたことはいないかと思えます。今回の震災の苦難さを力に変える共生のDNAが、今、よみがえりつつあります。折角わき出してきた共助と連携の力をうまく生かして次の時代を築く時でもあります。

新年の世界経済の先行きには悲観的な見方が急速に広がっており、わが国においても数えきれない程の課題が山積しております。先行きの不透明感に容易に拭えなく、予断を許さない状況にあり、大変心配しております。

しかしながら本年の尾道は多くのイベントがあり、元氣な尾道にしなければなりません。尾道青年会議所は50周年を迎え、

一般社団法人へ移行される記念の年であり、尾道商工会議所は創立120周年を迎えます。全国的なイベント「海フェスタ」も尾道を中心に開催が決定しています。大交流時代を迎えている今、尾道市民として永年にわたり待望していた中国横断自動車道「尾道〜松江線」がH26年度いよいよ全線開通の運びとなり、瀬戸内の十字路としての交通ネットワークの全てがこれで完成し、尾道は名実ともに瀬戸内の十字路としての拠点性が整います。

今年の尾道青年会議所のテーマは「絆」希望の道。まさに時代を見据えたテーマだと思えます。村上理事長を中心に、充実した青年会議所活動を期待したいと思えます。直前理事長の手塚君も広島ブロック会長としての活躍が期待されます。内外広く連携した活躍が、尾道にとつての節目の年に展開されることは、力強い限りであります。

尾道は時代継承もスムーズにすすんでいく街で、若い人が元氣だと評価をいただいています。大広域交流時代を前にして、今年には、経済圏・商業圏の拡大、広域観光ネットワークの創造といった新たな地域振興に向けて、尾道経済人としての誇りと自覚を持って、青年経済人の方が先頭に立っていただき、直面する困難を乗り越えてください。そして元氣な尾道をめざして、全力で取り組みをされ、素晴らしい青年会議所活動をされることを期待して、新年の挨拶とさせていただきます。

# 広島ブロック協議会 会長挨拶



公益社団法人日本青年会議所  
中国地区 広島ブロック協議会  
会長 手塚 淳三

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えの事と存じます。

今年、9年ぶりに広島ブロックの会長(2003年度会長が狩野牧人先輩)を尾道JICがお受けする事になりました。テーマは「変わらないために変わる。凛然とした誇りある広島創造」です。

日本JICからは、国難に直面している今だからこそブロックが、本会、地区協議会と連携して、各LOMの牽引役となつて地域を盛り上げて欲しいと言われています。

例年の事業に加えて今年には、安全・安心なエネルギー政策の研究、地域のたからを発掘して、地域再生の原動力にする事業。被災地が必要とする復興支援。等々が主な事業です。

知識も見識もない私に、この役をお受けする資格がないことは重々承知の上ですが、せつかくの機会ですので、二年続けて大変恐縮ですが皆さんに支えて戴き、出向者の皆さんと共に有意義な一年にしたいと思っております。

# 55周年実行特別委員会 実行委員長挨拶



55周年実行特別委員会  
実行委員長 幡中 幹生

本年度は55周年という記念すべき節目の年を87名の現役会員でスタートします。全国的に会員減少が進む中で県内3番目の会員数を擁しており、あらためて尾道青年会議所の魅力と、先輩方が築き上げてこられた伝統と歴史の重みを感じております。

今年には村上伸一理事長のテーマ「絆」のもと55周年記念式典、記念事業を開催いたします。記念式典につきましては5月12日土曜日に開催が決定いたしました。先輩方とともに55周年を祝い、心をひとつに「絆」の深まる会にしたいと考えております。

記念事業は現役会員が「丸」となって取り組む事業を考えております。2012年は辰年ですが、辰には伸びる、成長するという意味があるようで、55周年記念事業を通じて現役会員ひとりひとりが成長できる機会になればと考えております。

先輩方におかれましては我々現役会員にいつもあたたかく接していただき、我々の成長を見守ってください、感謝しています。先輩方から受け継いだ志と注がれた情熱を胸に55周年実行特別委員長という重責を全うする所存でございます。

本年も「層」のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 卒業例会



去る12月15日、2011年度最後の事業となる12月例会(卒業例会)が開かれました。昨年は6名の方が青年会議所を卒業され、卒業生の一人ひとりのJIC活動を振り返り、これまで歩んでこられた歴史や残されたメンバーへ想いを伝えて頂きました。



上田浩史先輩



前川佳洋先輩



増田泰志先輩



三阪統之先輩



山本圭志先輩



岸上幸由先輩

# 初詣に行ってきました。

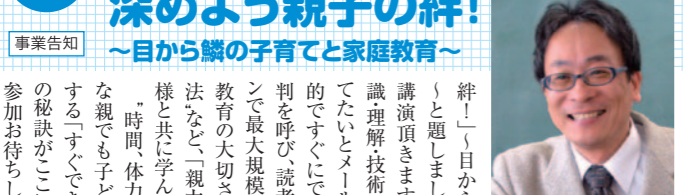


1月4日、時折風花が舞う中、正副理事長事務局メンバーが良神社に初詣に行つてまいりました。陽気な春となり、全員が新鮮な気持ちに満ち溢れ、無事に2012年度をスタートいたしました。



市長表敬訪問  
昨年9月27日、2012年度正副理事長、事務局メンバーで市長を訪問しました。

# 叱らなくても子どもは伸びる 深めよう親子の絆!



3月公開例会では、尾道市教育委員会、尾道市PTA連合会、社団法人尾道青年会議所の3者が協働し、「叱らなくても子どもは伸びる」深めよう親子の絆」と題しまして、親野智可等先生に講演いただきます。教師としての経験・知識・技術を少しでも子育てに役立てたいとメールマガジンを発行し、具体的にできるアイデアが多いと評判を呼び、読者数も教育系メールマガジンで最大規模を誇っております。家庭教育の大切さ、「親子の絆を深める方法など」親力おやりよく」について皆様と共に学びたいと考えます。

日時 2012年3月15日(木) 18時40分〜20時35分(受付18時20分より)  
場所 しまなみ交流館 大ホール  
講師 親野智可等先生(おやのちから)  
お問合せ 未来の宝育成委員会 委員長 榊原まで  
※入会候補者をお呼びする公開例会となっております。OB会員、特別会員の方でJICに興味のあるお知り合いの方がいらっしゃいましたら拡大研修委員会委員長 馬原までご連絡頂ければ幸いです。

## 輝くんの今月の1冊

浅田次郎  
闇の花道

あけまして、おめでとうございます。今年からお勧めの本のコラムを書いてくれと依頼された小林でございます。新刊ではない本を皆様にお勧めの手塚プロのお店の在庫を調整して参る所存です。

さて、今回は「天切り松」と呼ばれた怪盗が、留置場で若い衆を集めて闇がたりで聞かせる話をまとめた小説です。その昔、実際に存在したという噂がある義経達の物語です。

大正時代のモダン東京を舞台に、仕立屋銀次門の目の細い安吉、おこん姐御、百面相の常や黄不動、説教臭とあった仁義も色気もある個性豊かな義賊たちが、山県有朋を始めとする大物を相手に、毎回あつと驚く派手な仕事をやってのけます。お買い求めは、TUTAYA 啓文社各店へ!

## シネマ尾道 今月のオススメ映画

明けましておめでとうございます。本年も引き続きよろしくお願いたします。

今年最初にオススメいたします「一命」は、世界的傑作として名高い「切腹」(仲代達矢主演/1962年)のリメイク版。「切腹」はモノクロ、「一命」はカラーで、武家屋敷の茜色の家門、日本建築が鮮やかに美しく、坂本龍一の音楽も時代劇の恰好よさを引き立て、モダンに描かれています。

とはいえ、「切腹」「一命」のどちらが素晴らしいというものではありません。それぞれの違いをぜひ感じて下さい。違いを受け入れ楽しむ豊かさ。それが、映画の醍醐味だからです。今年一年、皆様に沢山の素敵な映画との出会いがあるよう心より願っています。 河本清順

一命  
監督：三池崇史 音楽：坂本龍一  
出演：市川海老蔵、瑛太、満島ひかり  
公開期間：1月28日〜2月17日

会場・お問い合わせ/シネマ尾道  
尾道市東御所町6-2 TEL:0848-24-8222  
HP: http://www.cinema-onomichi.com/